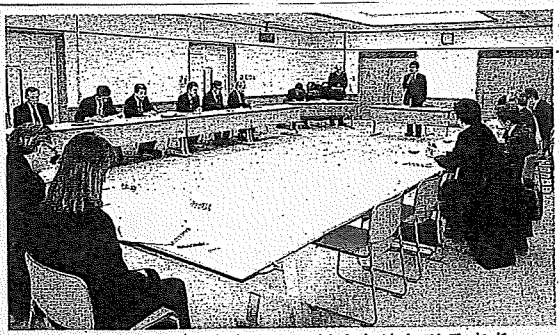
平成27年12月17日（木）陸奥新報（2面）



来年度の事業提案書案を取りまとめたひろさき健幸いきいきプロジェクトチーム会議

岩木健康増進プロジェクト
医療費データ調査へ
ひろさき健幸いきいきPT 来年度は53事業

弘前市が健康寿命延伸を目的に設置している「ひろさき健幸いきいきプロジェクトチーム」（チームリーダー・蛯名正樹副市長）は16日、弘前市消防本部で会議を開き、2016年度の事業提案書案を取りまとめた。岩木健康増進プロジェクト医療費データ調査など五つの新規事業を含む53事業を18日に葛西憲之市長に提案する。

提案する53事業は、新規5、拡大8、継続40、見直し3、廃止3（統合含む）。

新規は、弘前大学医学部社会医学講座が弘前市などと連携し行っている岩木健康増進プロジェクトの健診を受ける国保加入者の医療費を調査し、過去数年間の医療費データを集計、比較、検討することで施策展開に活用する「岩木健康増進プロジェクト医療費データ調査」、弘前大学が全国の大学と連携し65歳以上を対象に行う健康調査に協力し、追跡調査を行うことで対象者の健康状態の把握や研究を行う「（仮称）健康追跡調査」、妊婦が個別の歯科検診を受けられる「マタニティ歯科検診」など。

ワクチン単価の値上げに対応した「小児インフルエンザ予防接種費用助成事業」や、活発化している「ひろさき健幸増進リーダー活動支援事業」などは拡大して行う。

オブザーバーを務める医療福祉関係者らからは「せっかく横の連携を目指したプロジェクトなので、教育と健康など違う畑のものを合わせてやれる形がいい」「がん検診受診勧奨は、データに基づき年代も集中的にやるべき」などの意見が挙がった。

（西尾瑛）